

応援券等について



藤田 善幸 議員



一般質問



津守 那音 議員



美原公園南駐車場出入口 付近の通学時における安全 対策及び渋滞対策について

質問…自転車通学者と送迎車両

の交錯を減らすため、動線分離やカラー舗装、注意喚起看板の設置、誘導員の配置、さらには送迎ルートの見直しなどの安全対策を講じる考えがあるのか伺います。

答弁…今後、学校や警察をはじめとする関係機関と連携し、現地の状況を踏まえた複合的な安全対策について検討し、児童生

徒の安全な通行環境の確保に努めていきます。

質問…現場では自転車通学する中学生と送迎車両が交錯し、特に雨天時には送迎車両が急増することで危険性が高まっています。事故が起きてからでは取り返しがつきません。市長が掲げる「子どもの笑顔が見えるまち」、「命を守り共に支え合うまち」を実現するためにも、この問題

への対応は必要不可欠であると考えます。私は、やるかやらないか問うているわけではありません。子どもたちの命を守るためにいつやるのかを伺っています。市長の明確な決意と実施時期について伺います。

答弁…夏休みが終わって新学期が始まるまでには対応したいと考えています。

質問…電子マネーで配布の考えがないか伺います。

答弁…本事業においては、商品券が全ての市民に漏れなく公平に支援が行き届くことが最善と考えていますので、現時点においては、従来の手法により商品券を配布していきたいと考えています。

質問…電子化した場合の事務コスト削減効果を試算したことが

あるか伺います。

答弁…くらし応援商品券事業の予算や実績から試算し、削減可能な事務コストは、商品券印刷費の540万円をはじめ、発送準備委託費が約180万円、郵送代が約1500万円、それら全体で約2200万円かかると試算しています。一方で、新たに電子化を導入した場合には、システムの初期費用、構築費が

2000万円、今回の事業と同規模で実施した場合、システム保守事務委託費など単年度のラシニングコストは最大で7000万円ほどかかるケースも把握しています。全市民に対して平等に配布する今回のような商品券事業においては、従来のとおり紙での配布を継続していきたいと考えています。